



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 ユニデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6815 URL <http://www.uniden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 藤本 秀朗

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 志記 壮一郎

TEL 03-5543-2812

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,871	△21.2	941	—	984	176.6	844	—
25年3月期第3四半期	21,414	△20.9	△69	—	356	△71.6	△192	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 924百万円 (310.6%) 25年3月期第3四半期 224百万円 (△58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.33	—
25年3月期第3四半期	△3.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,279	31,372	84.2
25年3月期	36,376	30,451	83.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 31,372百万円 25年3月期 30,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,580	△21.8	1,030	—	1,070	—	765	—	12.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	63,139,649 株	25年3月期	63,139,649 株
26年3月期3Q	4,268,830 株	25年3月期	4,259,464 株
26年3月期3Q	58,877,211 株	25年3月期3Q	58,885,182 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
継続企業の前提に関する注記	9
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、総じて緩やかな回復傾向が続きました。米国では、個人消費の牽引により経済が底堅く推移するなど、緩やかな成長がみられました。欧州では、輸出や各国内需が伸び悩み、低成長が続きました。アジア経済では、中国においては輸出や個人消費などで多少の持ち直しは見られたものの、国内製造業の成長が鈍化する等加速ペースは緩やかなものとなっています。わが国経済では、デフレ脱却へ向けた政府の金融政策による円高の是正や株価の上昇、消費税増税を前にした駆け込み需要など明るい兆しが見られるようになりました。

一方、当社の主要市場である北米家電市場においては、韓国・中国メーカーの台頭などによる低価格競争やスマートフォンやタブレット端末の普及などにより依然として厳しい状況下にあります。

このような環境の中、当社グループでは主力の無線通信・応用機器部門においてマーケットシェア拡大に注力する一方、子会社を通じた新規事業の拡大を図り、新たな事業の柱となるよう取り組んでまいりました。スマートフォン向けゲームアプリケーション事業においては、新規アプリケーションの開発・リリースを着々と実現しました。特に株式会社e-Dragon Powerにおいて、平成25年10月に配信を開始した「おしおき☆パンチガール!!!」は、12月に29万インストールを突破いたしました。また、平成25年12月に配信を開始した「ゴッド オブ スフィア～千年少女と七つ首のオオドラゴン～」は、開始から10日でiOSランキング(無料)で1位を獲得するなど、利用者数は順調に増加いたしました。一方で、課金収入は想定を下回る結果となりましたので、来期に向けて、引き続き収益性の向上に取り組んでまいります。

また、不採算事業見直しの一環として、株式会社ニンジャドライブのドラッグストア店舗の閉鎖を決定し、店舗閉鎖損失を特別損失に計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高16,871百万円(前年同四半期比21.2%減)、営業利益941百万円(前年同四半期は69百万円の損失)、経常利益984百万円(前年同四半期比176.6%増)、四半期純利益844百万円(前年同四半期は192百万円の損失)となりました。

〔電話関連機器部門〕

当部門では、採算性を重視する事業戦略を推進いたしました。その結果、コードレス電話の売上台数が減少し、売上台数281万台(前年同四半期比60.4%減)、売上高7,408百万円(同45.5%減)となりました。

〔無線通信・応用機器部門〕

当部門では、北米市場において、Video Surveillance(ワイヤレスカメラ)や、Scanner Radio(スキャナーラジオ)の売上が好調に推移したことから、売上台数125万台(前年同四半期比8.2%増)、売上高8,177百万円(同30.5%増)となりました。

〔デジタル家電機器部門〕

当部門では、液晶テレビ・モニターや、地上デジタルチューナーの売上台数が減少し、売上台数9万台(前年同四半期比20.9%減)、売上高682百万円(同31.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は15,803百万円(前期末比4,325百万円減)となりました。これは、主として仕掛品が180百万円、その他が17百万円増加し、現金及び預金が2,370百万円、商品及び製品が1,026百万円、受取手形及び売掛金が561百万円、原材料及び貯蔵品が320百万円、繰延税金資産が233百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は21,476百万円(同5,228百万円増)となりました。これは、有形固定資産が4,616百万円、投資その他の資産が311百万円、無形固定資産が301百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は37,279百万円(同903百万円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は5,832百万円(前期末比16百万円減)となりました。これは、主として短期借入金が366百万円、その他が247百万円、1年内返済予定の長期借入金が62百万円、未払法人税等が36百万円増加し、支払手形及び買掛金が592百万円、賞与引当金が73百万円、未払費用が71百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は75百万円(同2百万円減)となりました。

この結果、負債合計は5,907百万円(同18百万円減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は31,372百万円(前期末比921百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が844百万円、為替換算調整勘定が76百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成25年11月8日に公表しました平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表しました「平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(会計上の見積りの変更)

当社が保有する開発用基幹システム(自社利用ソフトウェア)は、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、当第3四半期連結会計期間において、当社グループを取り巻く環境の変化に伴い、使用実態の調査及びシステム投資計画に基づき検討した結果、耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

また、当社グループ子会社の保有する無線通信・応用機器に係る金型は、従来、耐用年数を2年として減価償却を行ってきましたが、当第3四半期連結会計期間において、当社グループを取り巻く環境の変化に伴い、使用実態の調査を行い検討した結果、耐用年数を5年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,417	7,047
受取手形及び売掛金	5,115	4,554
商品及び製品	3,464	2,438
仕掛品	449	629
原材料及び貯蔵品	1,096	776
繰延税金資産	233	—
その他	433	450
貸倒引当金	△79	△91
流動資産合計	20,128	15,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,312	3,643
機械装置及び運搬具（純額）	1,793	1,795
工具、器具及び備品（純額）	246	312
土地	8,845	8,925
建設仮勘定	112	4,249
有形固定資産合計	14,308	18,924
無形固定資産	522	823
投資その他の資産		
投資有価証券	625	691
その他	908	1,153
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	1,418	1,729
固定資産合計	16,248	21,476
資産合計	36,376	37,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,122	1,530
短期借入金	462	828
1年内返済予定の長期借入金	—	62
未払費用	2,039	1,968
未払法人税等	486	522
賞与引当金	189	116
役員賞与引当金	9	17
製品保証引当金	60	61
その他	481	728
流動負債合計	5,848	5,832
固定負債		
その他	77	75
固定負債合計	77	75
負債合計	5,925	5,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,999	35,999
資本剰余金	11,791	11,791
利益剰余金	514	1,358
自己株式	△7,321	△7,324
株主資本合計	40,983	41,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	△10,532	△10,456
その他の包括利益累計額合計	△10,532	△10,452
純資産合計	30,451	31,372
負債純資産合計	36,376	37,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,414	16,871
売上原価	16,043	11,491
売上総利益	5,371	5,380
販売費及び一般管理費	5,440	4,439
営業利益又は営業損失(△)	△69	941
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	1	1
為替差益	29	8
持分法による投資利益	143	39
受取手数料	156	—
その他	108	71
営業外収益合計	444	127
営業外費用		
支払利息	0	4
寄付金	2	24
会員権評価損	5	—
附帯税	—	20
その他	12	36
営業外費用合計	19	84
経常利益	356	984
特別利益		
固定資産売却益	20	91
事務所移転費用戻入益	—	16
特別利益合計	20	107
特別損失		
固定資産除売却損	10	14
特別退職金	276	108
店舗閉鎖損失	—	55
特別損失合計	286	177
税金等調整前四半期純利益	90	914
法人税、住民税及び事業税	29	50
法人税等調整額	253	20
法人税等合計	282	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△192	844
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△192	844

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△192	844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	364	58
持分法適用会社に対する持分相当額	49	18
その他の包括利益合計	416	80
四半期包括利益	224	924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224	924
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。